

# 番組審議委員会議事録

株式会社 衛星劇場

- 1.開催年月日 平成 25 年 7 月 24 日（水）12：00～13：00
- 2.開催場所 銀座東武ホテル
- 3.委員の出席 委員総数 10 名  
出席委員数 7 名（品田雄吉、田中康義、山内静夫、堀江ミエ子  
松本淳、松本行央、太田博）  
欠席委員数 3 名（小山観翁、伊藤信太郎、坂田藤十郎）
- 4.放送事業者側出席 5 名（井田寛[代表取締役社長]、山崎克己[監査役]、  
藤本弘之[取締役・営業担当]、鵜澤由紀[編成部長]、  
松野俊一[編成課長]）
- 5.議事の概要
  - ・ 経営報告
  - ・ 衛星劇場の現状報告
  - ・ ホームドラマチャンネルの現状報告
  - ・ 今後の放送番組について
  - ・ 営業報告
  - ・ 質疑応答
- 6.議事内容
  - 経営報告
    - ・ 5 月末の株主総会で、油谷昇に代わり、井田寛が社長に就任。
    - ・ 新しい部署として、イベント事業室を立ちあげる。ワークショップを開講し、講演、映画製作、公開という流れから、最終的には放送へとつなげていけるような事業にしたい。

### ○衛星劇場チャンネル

- ・編成の概況としては、まず韓国ドラマを放送している局で争奪戦が繰り広げられ、価格高騰が起き、非常に厳しい状況。映画も製作委員会などで地上波が参入する作品が多く、テレビ初が取れず苦戦している。
- ・新しい映画は地上波で見ることができるが、旧作はあまりやらない。そこで衛星劇場で古い名作を放送することで差別化をここではかかるとした。
- ・歌舞伎を放送しているのは、NHKを除いては衛星劇場だけ。4月の歌舞伎座開場の際の調査によると、歌舞伎が見たくて加入した人は、4月以前は2~3%だったのが、4月以降は10%ぐらいになった。とは言え、まだまだ衛星劇場で放送していることを知らない人も多いのが現状。

### ○ホームドラマチャンネル

- ・韓流、時代劇、国内ドラマの3本柱で放送を行っている。
- ・4月より15周年企画を実施中。メインターゲットは40代女性。その層に向けたラインナップを揃えている。
- ・韓国ドラマは衛星劇場と同じように厳しい状況だが、年に1~2本の日本初放送をすることで、加入につなげていきたい。
- ・時代劇も時代劇専門チャンネルに絡んでいくのは大変だが、今後も魅力的なラインナップを並べられるように努める。
- ・国内ドラマは4月以降、CS初を中心に編成。初放送ではないが、「男女7人夏物語」などの話題作や10年近く編成している台湾ドラマ、バラエティなども織り交ぜて放送することでアピール。

### ○営業報告

- ・テレビを取り巻く環境もこの20年余りで大きく変わってきている。インターネットが浸透し、携帯端末の普及により、テレビ離れが進んでいる。若者はテレビを見ない生活が普通になっている人もいる。そんな状況の中で衛星劇場は今後どうやっていくのかが大きな課題。
- ・政府としての目標としては、現状のハイビジョンは画素数が2000、2Kだが、来年あたりには4K（画素数4000）、2016年には8K（画素数8000）までやっていく方向。ケーブルもスカパーもまずは4Kをしようとしている。
- ・SD放送が来年の5月で終了するが、こちらの移行がスムーズに進んでいない。衛星劇場で2万弱がまだSDのまま。チューナーを変えないといけないので、手間であることは間違いない。ここでの取りこぼしをなるべく少なく

していきたい。

○質疑応答

- ・4K、8K となるとフィルムで撮った映画などはどうなるのか？

→衛星劇場としては直接関係ないが、編集所などでは編集機械なども導入されてきている。圧縮技術の進歩により高画質の映像を見ることができるようになってきた。しかし、それによって編集費が増加するということが起こってくるだろう。

- ・松竹や歌舞伎をたくさん放送しているということで、和のイメージが衛星劇場にはある。チャンネルのターゲットはどのくらいの年代か？

→視聴者が 50 代、60 代、40 代の順番が多い。邦画、韓国ドラマのどちらか 1 つに絞っていければいいが、それは難しい。女性は韓流、男性は時代劇や邦画というような分け方もできる。また、ホームドラマチャンネルは、40 代、50 代と衛星劇場と比べると少し若い。15 周年の企画コンセプトにも謳っているように 40 代女性をターゲットに働きかけていく。

- ・韓国ドラマの争奪戦が激しくなっているとのことだったが、どんな競争になっているのか？

→WOWOW、DATV、KNTV、Mnet そして衛星劇場のプレミアムチャンネルで日本初放送を巡り争奪戦が起こっている。それにより作品価格が高騰し、ファーストラン以降も韓国ドラマの価格が高騰し続けている。

○その他

- ・番組審議委員の山内静夫先生から退任の希望があり、了承される。

以上